

豊小だより

笑顔いっぱい！
やる気いっぱい！
友だちいっぱい！



全国学力学習状況調査から

8月末に調査結果が送られてまいりました。過去と比較して、数々の改善された面もありますが、まだまだ十分であるとは言えない結果でした。あきらかになった本校の課題を踏まえて、今後も学校教育の充実を図ってまいります。つきましては、ご家庭におきましても下記の点でのご協力をお願いいたします。

- ① 家庭学習の学習時間確保 (学年×10+10分が標準です。)
- ② 定量家庭学習から自己調整家庭学習へ (自主学習の取組の充実)
- ③ 学習頑張り習慣へのご協力 (10月半ば、12月、3月に予定)
- ④ 読書や新聞などの文字に触れる機会を意識 (読書量の少なさ、スマホ使用時間の多さが課題です。)
- ⑤ 家庭内でも単語ではなく、文章で会話をする。自分の意見や考えを話す場面を大切にする。(自分の考えを筋道立てて話すことが課題です。)



SDGs活動オンラインワークショップ

伊藤忠商事（東京）の企画により、東京都の青山小学校、イギリスのヘーゼルウッドスクールと豊郷小学校をオンラインで結び、SDGsの取組について交流しました。豊郷小学校は、4年生が森林環境学習「やまのこ」、5年生が学習船「うみのこ」での琵琶湖環境学習の体験、6年生はポイ捨てを無くすための取組を紹介しました。今回のワークショップは4年生～6年生の有志による発表であり、夏休み明けから昼休みや放課後の時間に発表の準備を重ねていきました。学習の積み重ねを他校と交流すること（それも東京とイギリス！）は、貴重な体験でした。この取組は継続していく予定です。伊藤忠創業者の伊藤忠兵衛氏より頂いたご縁を大切に、「ふるさとを愛し、世界に羽ばたく子どもたち」を育成してまいります。https://youtu.be/D_vauv8U2JM (ユーチューブでご覧いただけます)



発表のなかで、英語で話す場面も多くありました。

第4回計算王、自主学習展覧会～みんなのがんばい～



9月8日（木）9日（金）に開催されました。参加人数は、（1～3学年の部）43名、（4～6年生の部）32名でした。

（1～3年生の部）では3年：飛松蒼蒼さん【2連覇】、（4～6年生の部）では5年：松本偉哉さんが、栄えある第4回計算王に輝きました。

「自主学習のパターンを定着させ、定量的な宿題ではなく、宿題の質の向上を図る（自己調整学習の向上）」に繋げる取組として位置づけています。見ていた児童たちが、「すごいなあ」「しっかりできているなあ」「こんなふうによればよいのか」と口々に話していました。まず「真似る（まねる）」ことからはじめ、「学ぶ（まなぶ）」ことに繋がることを期待しています。学習習慣の定着（特に家庭での学習）が本校の課題です。与えられた課題に取り組むだけでなく、自らが課題を見つけ主体的に取り組むことが大切です。小学校段階で身につけた「学びの習慣」が、今後の学習の定着に影響します。ご家庭でも、声かけをお願いいたします。